

(4) 第3次男女共同参画行動計画実施計画書

令和2年度の実績評価・内部評価について

行動計画に記載された各項目を基に、各所属での事業ごとの実施計画を作成。5年後の設定目標に向けて、毎年事業の計画を立ててそれに対する実績評価を行っている。

昨年度、実績評価の方法について見直しに取り組み、様式の変更や事業評価のパターン分けなどを行った。

今年度は、令和2年度の実績評価に取り組んでおり、5月17日の男女共同参画推進会議幹事会、7月7日の男女共同参画推進会議で内容確認・協議を行った。

【実施計画書（令和2年度評価）について】

- ・令和元年度～令和5年度まで、年度ごとの実績を入力し、評価していく
- ・計画（年度ごとの目標）に応じた達成率から5段階で評価
- ・事業ごと事業評価に合った事業評価パターンに応じた評価方法を適用（別紙「事業評価パターンについて」）

【庁内会議での点検結果・意見について】

※意見全体は、庁内会議からの実績評価への意見（まとめ）に記載。

（主な指摘、意見）

- ・セミナーの開催など、多くの所属で事業等に挙げているが、目標を満足度や開催数、参加人数などで統一できれば画一的に評価できるのでは—**事業全般**
- ・コロナの影響で、実績が減した場合（中止になった場合）の評価はどうするか—**事業番号 1**
- ・事業や施策に対する注釈（詳しい説明）が欲しい（島田版クラウドソーシングとネウボラ）—**事業番号 2、5**
- ・周知件数、啓発回数、開催回数などの指標より、さらに詳しい数値（チラシ配付数、補助金交付件数・率、参加人数など）を指標にした方がいい—**事業番号 11、23、37、39**
- ・デートDV防止出前講座について、県主催のものみの記載だが、市が中学校向けに行っているものや、看護専門学校で実施しているものについても、目標値に設定したらどうか—**事業番号 54**
- ・「実績から見た評価理由」が数値（目標値・実績値）のみの記載で、評価の理由になっていない—**事業番号 52、56、62、63、64**

※意見を踏まえ、各所属に再度照会し、修正しています。

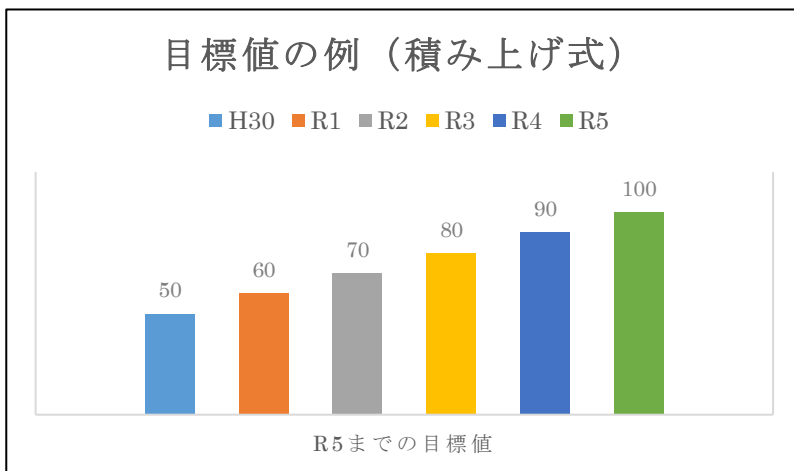
【事業評価パターンについて】

実施計画の事業に、以下の3つのパターンを当てはめて評価する。

①積み上げ評価

累計登録者数や延べ参加者数などが、5年間で段階的に上がり目標値を達成できるように設定されているもの。

毎年目標値までの達成率で年度評価をし、最終年度の目標達成率を総合評価とする。また、現状値から令和5年度までの伸び率も最終年度に評価し、総合評価の参考とする。

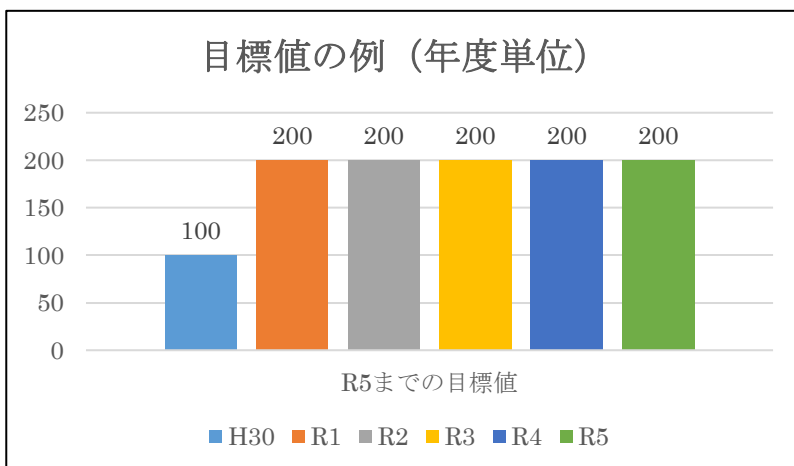


累計数が毎年10ごと追加されていき、最終目標値(100)に届く目標設定。

②年度単位評価

年間の参加者数や、登録者数などが最終年度（令和5年度）の目標値を設定年度に達成できるように設定されているもの。

毎年実績が、目標値をどの程度達成しているかで年度評価し、5年間の評価の平均が総合評価となる。



令和5年度に200の実績となっていることが目標のため、毎年度200を目標値としている。

③削減指標評価

待機児童数や要保護対象者の安全確保件数など、事案があることがマイナスで削減していくことが目標であるもの。

毎年の実績が、目標値をどの程度達成しているか(減っているか)を年度評価とし、最終年度の評価が総合評価となる。

《評価区分（年度での評価）》

区分	評価基準
A 【80% ≤ 達成率】	目標（値）もしくは計画で設定した数値等を概ね達成することができたもの。
B+ 【60% ≤ 達成率 < 80%】	目標（値）もしくは計画で設定した数値等を達成できなかったが、それに近い成果があったもの。
B 【40% ≤ 達成率 < 60%】	目標（値）もしくは計画で設定した数値等を達成できなかったが、基準値からは成果があったもの。
B- 【20% ≤ 達成率 < 40%】	目標（値）もしくは計画で設定した数値等を達成できなかったが、基準値からわずかに成果があったもの。
C 【達成率 < 20%】	目標（値）もしくは計画で設定した数値等を達成できず、基準値からも改善がほとんど見られなかったもの。
評価なし	事業の未実施・中止などで、達成率の算出ができないもの。

庁内会議からの実績評価への意見（まとめ）

事業番号	事業名	担当課	指標・目標設定について	実績・評価理由について	その他（計画や事業項目などについての意見）	対応
1	交流会やセミナーの開催	商工課	<ul style="list-style-type: none"> ・年度単位指標では ・参加者数も指標としてどうか ・母数の増減が不明。複数の指標で評価してはどうか 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナで減したときどうするか 		<p>評価モデルを「年度単位指標」に変更した。 島田市産業支援センター4者代表者会議において決定した事業目標に基づき、指標を「セミナー満足度」としているため、参加者数は追加しない</p>
2	クラウドソーシングの推進	戦略推進課・商工課	<ul style="list-style-type: none"> ・島田型クラウドソーシングの注釈がほしい ・主語は「市」なのか「市内事業所」なのか 			<ul style="list-style-type: none"> ・島田型クラウドソーシングは、運営者、受注者、発注者それぞれが地域密着で顔が見える島田ならではのクラウドソーシング ・主語は、島田ICTコンソーシアム（市が事務局を務める官民連携組織）
3	事業所の「男女共同参画社会づくり宣言」の促進	市民協働課	<ul style="list-style-type: none"> ・指標はパレットの発行回数、HPの更新回数ではないか ・最終的に掲載事業所数もあるべきと思う。 			<ul style="list-style-type: none"> ・パレット発行回数やHP更新回数は、手段（取組）の実績値であって、目標の値に対する実績値ではない。また、他の事業での記載もあるため、ここでは掲載しない。 ・掲載した宣言事業所の累計を実績から見た評価理由の欄に追記した。
4	効率的な業務遂行と毎週月曜日は定時退庁日の徹底	人事課	<ul style="list-style-type: none"> ・今後として、職員数は増加せず、事務は拡大していくと思われる。残業時間の削減というよりは、もう少し別の角度から評価してはどうか。 ・水曜の定時退庁ができなかった人数を調べて削減目標にするなど。離職者数の削減、職員アンケート結果の流用を考えるべき。 			<p>昨年度指標を見直し、現在の残業時間数の目標を立てたばかり。データの蓄積、分析などをしたうえで、別の視点での評価等を検討したい。</p>
5	子育て世代包括支援センターの運営	健康づくり課			<p>ネウボラの注釈がほしい。</p>	<p>評価理由欄に注釈の記載をしました。</p>

庁内会議からの実績評価への意見（まとめ）

事業番号	事業名	担当課	指標・目標設定について	実績・評価理由について	その他（計画や事業項目などについての意見）	対応
6	地域子育て支援センター事業 子育てコンシェルジュ事業	子育て応援課	合計の指標が欲しい。			マイ支援登録は、コンシェルジュと支援センターが連携して実施。登録した方が支援センターとつながり、利用や相談等しながら安心して子育てができるよう今後も取り組んでいく。
7	育児サポーター派遣事業	子育て応援課	合計の指標が欲しい。	「指標の項目」と「実績から見た評価理由」が一見つながらない。		申請をしたが家族支援があるため、利用につながらないケースが増えている。家族支援が本来大切なため、申請者の状況に応じ今後もサポートを行っていく。
9	保育事業（量と質の確保） 児童健全育成事業	保育支援課			病児保育施設は今後どのような目標とするか。たとえば利用率を指標としてあげるのか（利用が増えれば良いというものではないかもしれない）	病児保育施設の整備は、保育事業の質の部分であるが、利用率は社会情勢（コロナなど）でも変化し、施設整備と相関関係がないため、現状のままとした。
10	放課後児童健全育成事業	子育て応援課		実績に対する取組が分からない。取組の成果なのか、ただの申し込みの結果なのか。		待機児童解消に関する取組は毎年継続して行えるものではない。施設整備、余裕教室の活用、民間事業者の参入等を考えながら今後も取り組んでいく。
11	育児休業制度の周知、利用の啓発	市民協働課	・周知を図る回数を目標とするのも一つだが、最終的にはどのくらいの人に周知されたかではないか ・もしくは、周知によりどのくらい育休が利用されたか ※これは周知だけではないので難しい			・どのくらいの人に周知されたかの客観的な数値を出すことは難しく、市が取り組んでいることで指標を設定できるのは、啓発回数のため、現状の設定となっている。
12	市役所内での育児休業制度等の周知・利用促進	人事課	年度単位評価でもいいのでは。			総件数を増やしていくことを目標としているため。
13	家庭生活への男性の参画促進に関する啓発	市民協働課	年度単位評価でもいいのでは。			年度単位評価としている。
14	男の料理教室等の開催	社会教育課	年度単位評価でもいいのでは。			年度単位評価としている。

庁内会議からの実績評価への意見（まとめ）

事業番号	事業名	担当課	指標・目標設定について	実績・評価理由について	その他（計画や事業項目などについての意見）	対応
16	女性の就労機会の創出	商工課	回数があってもいいのでは。			開催回数を指標に追加しました。
17	企業セミナーの開催	商工課		人数ではなく開催回数でいいのか。満足度などでもいいのでは。		島田市産業支援センター4者代表者会議において決定した事業目標に基づき、指標を「セミナー満足度」に変更した。
21	能力発揮の方法についての周知	市民協働課	掲載回数でいいか。アクセス数などの方がいいのでは。			・周知や啓発の目的としては、アクセス数よりも、どれだけの媒体で、どれだけの回数紹介したかどうかが指標となる。
22	セクシャル・ハラスメント等の防止の推進	市民協働課	「情報紙や広報しまだでの情報掲載」が掲載しないと0となり、評価が0となってしまう。情報紙等への掲載は隔年でもいいのでは。	目標がセクハラ・女性への暴力と限定されており、他にも情報を載せたい内容もあり、同じ内容を毎掲載せるのもマンネリ化してしまうのでは。		・紙媒体での掲載が難しい場合、ホームページでの情報提供も指標としているので、そちらができれば評価にはならない。また、女性相談などの小さな定例記事でも主旨にあった記事が掲載できるため、そのままとする。
23	セクハラ・パワハラ防止研修会の開催	人事課	開催回数ではなく、参加人数でいいのでは。			詳しく実績評価するのであれば、参加人数だけでなく、満足度なども指標とするべきで、個別の修正ではなく、全体で目標設定を見直す際などに修正（統一）したい。
32	各団体等へ女性の登用促進の啓発	市民協働課	現実的な指標にしたらどうか。		「啓発」だけでは目標達成が難しいのでは。	・各委員会、審議会等での女性比率の目標は30%を掲げているため、低い目標を掲げるよりも現状の方が望ましい。
33	PTA役員への女性の登用促進	学校教育課		50%でない場合の評価はどうなるのか。		修正なし。50%に届かないという状況はあまり考えにくいですが、達成できなかった場合は達成できるように各校へ促す。

庁内会議からの実績評価への意見（まとめ）

事業番号	事業名	担当課	指標・目標設定について	実績・評価理由について	その他（計画や事業項目などについての意見）	対応
34	女性公募委員候補者情報の活用	市民協働課		取組内容が不明瞭。		・公募委員候補者についての説明も追記し、取組内容を詳しく記載した。
37	各委員等における女性の登用についての啓発	市民協働課	指標が、啓発の回数ではなく、補助金の率で評価した方がいいのでは。		取組内容が啓発だけでは難しい。	・該当する補助金は、昨年度は実績がなく、指標にするのは難しい。
39	男女共同参画啓発活動実施グループの育成・支援	市民協働課	指標が情報提供の回数ではなく、チラシの配付枚数等を指標にした方がいいのではないかな。			・県やその他団体等から案内のあるチラシなどは、その都度部数（枚数）がまちまちであるため、配付回数を指標とした。
46	妊産婦が乳幼児を持つ親を対象とした相談の実施	健康づくり課	予約制乳幼児相談の集計方法が変更になっていることで大幅に増えているが、変更したらどうか。 子育て世代包括支援センターの相談についても同じ。			予約制乳幼児相談については、相談枠を減少したため、目標値についても変更します。子育て世代包括支援センターの相談については、令和2年度は新型コロナウイルスの影響で問い合わせが増加しましたが、令和3年度は問い合わせが減少すると思われるため、目標値は変更しません。
49	スポーツ教室	スポーツ振興課	ママさん教室の開催回数だけでなく、その参加人数も指標として入れるのはどうか。 スポーツ教室開催数、参加人数は女性の指標ではないため外してよいのではないかな。			指標を次のとおり変更する 前：スポーツ教室開催数 スポーツ教室参加者数 ママさん教室開催数 後：①ママさん教室開催数 ※修正なし ②ママさん教室参加者数 ③男のトランポ参加者数 <理由> ②は子育て中でも参加できる教室を開催することで、「誰でも参加しやすいスポーツ講座などの開催」に繋げる。 ③は、女性の参加者ばかりで参加しにくいといった男性の声から開催に至った教室であり、男性のみの当該講座を開催することで、「誰でも参加しやすいスポーツ講座などの開催」に繋げる。

庁内会議からの実績評価への意見（まとめ）

事業番号	事業名	担当課	指標・目標設定について	実績・評価理由について	その他（計画や事業項目などについての意見）	対応
52、56、62、63、64	・女性に対する暴力をなくす運動や児童虐待防止推進月間に合わせた暴力根絶の啓発事業 ・家庭児童相談室体制の強化 ・DV防止法制度や支援制度の啓発の推進 ・被害者の安全確保 ・被害者の自立支援	子育て応援課		目標値と実績値のみの記載で、評価の理由にはなっていない。また、52については、目標の数値の記載に誤り（7→15）		実績・評価理由について、修正した。
54	若年層へのデートDV防止の啓発	市民協働課	デートDV防止出前講座について、県主催のもののみ記載だが、市が中学校向けに行っているものや、看護学校で実施しているものも設定したらどうか。			令和2年度から中学校向けにも実施してはじめているため、そちらも対象として盛り込みました。（目標、目標達成のための取組を修正）
58、59	・高齢者相談・支援	包括ケア推進課		地域包括支援センターの設置数が目標となっており、令和2年度は1つ減っているが、理由の記載はない。		入力ミスであったため、5から6に訂正しました。
65	医療費助成、児童扶養手当、自立支援給付金、相談業務の実施	子育て応援課		記載の順番を1段落目と2段落目を入れ替えて、相談は増えているが、対象外になることがあり、目標達成には至っていないとした方が分かりやすいのではないかと		指摘のあったとおり、記載の順番を入れ替えた。
全般			セミナーの開催は各課であるが、目標を満足度、開催数、参加人数で統一できればいいが、一つの評価モデルで表現するのは難しいのではないかと			
77	市民を対象とした意識調査の実施	市民協働課	13という目標設定がよく分からない。	13に実績2とは何か。	13に実績3とは何か。	・過去に実施した設問数が13で、その中をどれだけ見直したか（検討したか）という数を示している。
73	各種メディアを使った男女共同参画に関する情報の提供	市民協働課		年度単位評価にするのであれば、昨年との比較はしなくていいのではないかと。		・年度単位評価であっても、5年間を総合的に評価する際に、毎年の数値の推移を考慮する可能性もある。
77、78	市民・市職員に対する意識調査	市民協働課	確認・見直した設問数が多いといいのか。指標の設定、確認が必要では。			・設問をどれだけチェックし、次の調査票に生かしていけるか、確認するための指標として設定している。 ・見直して修正することを前提としているわけではなく、確認した結果同じ設問を使うこともありえる。修正した設問数だけの実績ではない。
83	しずおか中部連携中枢都市	市民協働課 戦略推進課	「連携事業の実施をしたかどうか」を指標にしたらどうか。			・連携事業の実施についても、指標に盛り込んだ。
85	男性の男女共同参画事業事例	市民協働課		ホームページと広報しだに掲載できなかった理由を記載してはどうか。		ホームページと広報しだに掲載できなかった理由を、評価理由の欄に追記した。